

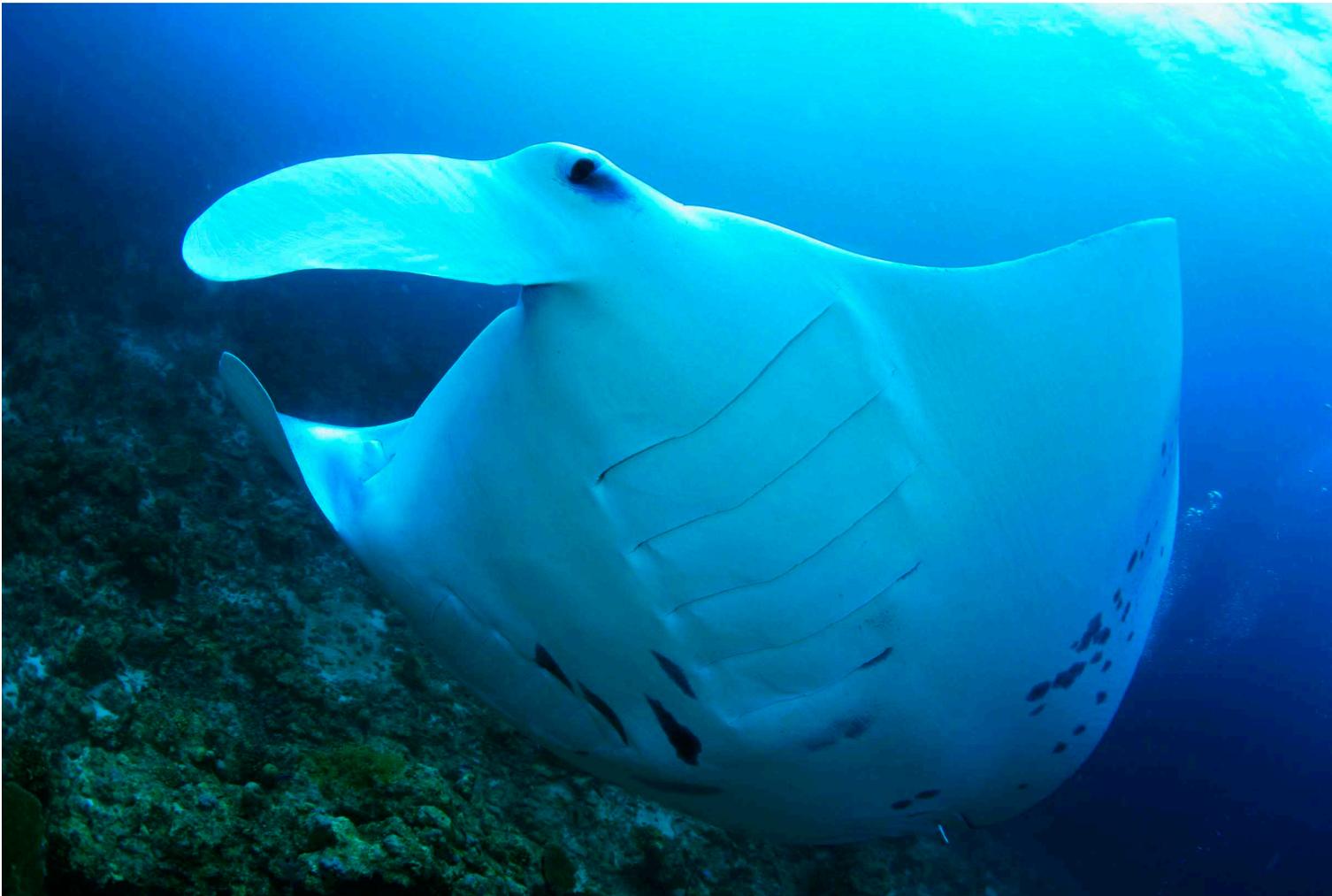
# モルディブ最北端の海、 HAA ALIF ATOLLに潜る!

ハ ア リ フ 環 礁



2年前、モルディブ最北端、ハーアリフ環礁にオープンした、5スターリゾート、アイランド・ハイダウェイ・ドナクリ (Island Hideaway Dhonakulhi, Maldives Spa Resort and Marina)。同環礁初のリゾートでもあり、ダイビングサファリポイントさえも今現在一隻も就航していない。周囲の海はこのリゾートに滞在したダイバーのプライベートビーチならぬ、プライベートダイブサイト。5スターリゾートで優雅なリゾートライフを満喫し、「モルディブ」という超メジャーブランドの海にいながら、手つかずの海を独占できる優越感に浸れる。まだまだ、開拓の余地を多に残した海。しかし、ハウスリフとなるチャンネルでは、ベストシーズンにマンタが100匹以上も群れを作るシーンが目撃されたり、外洋側でザトウクジラが目撃されたなんて話も聞いた。今回はそんなベストシーズン前の事前情報的な取材ではあるが、大いに最北端環礁の海を堪能させてもらった。

Special thanks : **Island Hideaway Dhonakulhi, Maldives Spa Resort and Marina / Meridis Dive & Relax / World Tour Planners**  
photo and Text : **Takaji Ochi**



水深8メートルのクリーニングステーションに姿を見せたマンタ

“モルディブ最北端”の環礁ハーアリフ。最北端とか、最南端とかいう言葉に僕は妙に惹かれる。要するにその国の一番端にあるわけなんだけど、それだけで普通では見ることのできない、異色なものが見れそうな期待感を与えてくれる。

実際には、ドナクリ島のある環礁のさらに北に、もう一つ環礁が隣接しているのだが、モルディブでは、各環礁ごとに区切るのではなくて、同じ環礁でも、大きなものは中央で南北に分けて環礁名が付けられていたりする。

だから、ちょっと僕には奇妙な気がするのだけど、ドナクリ島のある大きな環礁の北側と、その北にある小さな環礁は、ともに、「ハーアリフ環礁」という同じ呼称で呼ばれている。

まあ、そんなことはどうでもいい。実際、北に隣接する環礁も、同島のダイビングポイントとしては、射程圏内に位置しているのだから。そして、そこに点在する、まだまだダイバーの手のほとんど入っていない海に潜るということ。しかも、それが最北端であるということが、僕の冒険心をくすぐった。

モルディブの開拓者であり、館石昭さんのガイドを長年勤めてきたという「キングオブエア」の異名を持つ、モハメッドという年配のダイブガイドから話を聞いた。「モルディブの全てのダイビングポイントを知っているが、はっきり言って、この海がベストだ。俺が保証するよ」。そんな凄い海なのか。



01



02

01: マーレからは、国内線で移動する  
02: 目の前のハウスリーフはチャンネルになっている

通年マンタが見れて、ベストシーズンには  
ハウスリーフに100匹のマンタが群れる!?

モルディブ最北端の海、ハーアリフ環礁に潜る!  
MALDIVES, HAA ALIF ATOLL  
Web-lue 2007. Summer



## 「マンタ100匹!?!」の期待に応える

### ハーアリフ環礁の実力

01:ハウスリーフのジェティー下には、常にギンガメアジが群れていた  
02:エキジット直前まで、マンタが足元で旋回を続けていた。ドナクリノース  
03:リーフトップで見かけたテーブルコラルの群生。サンゴも健在だ。マティファル

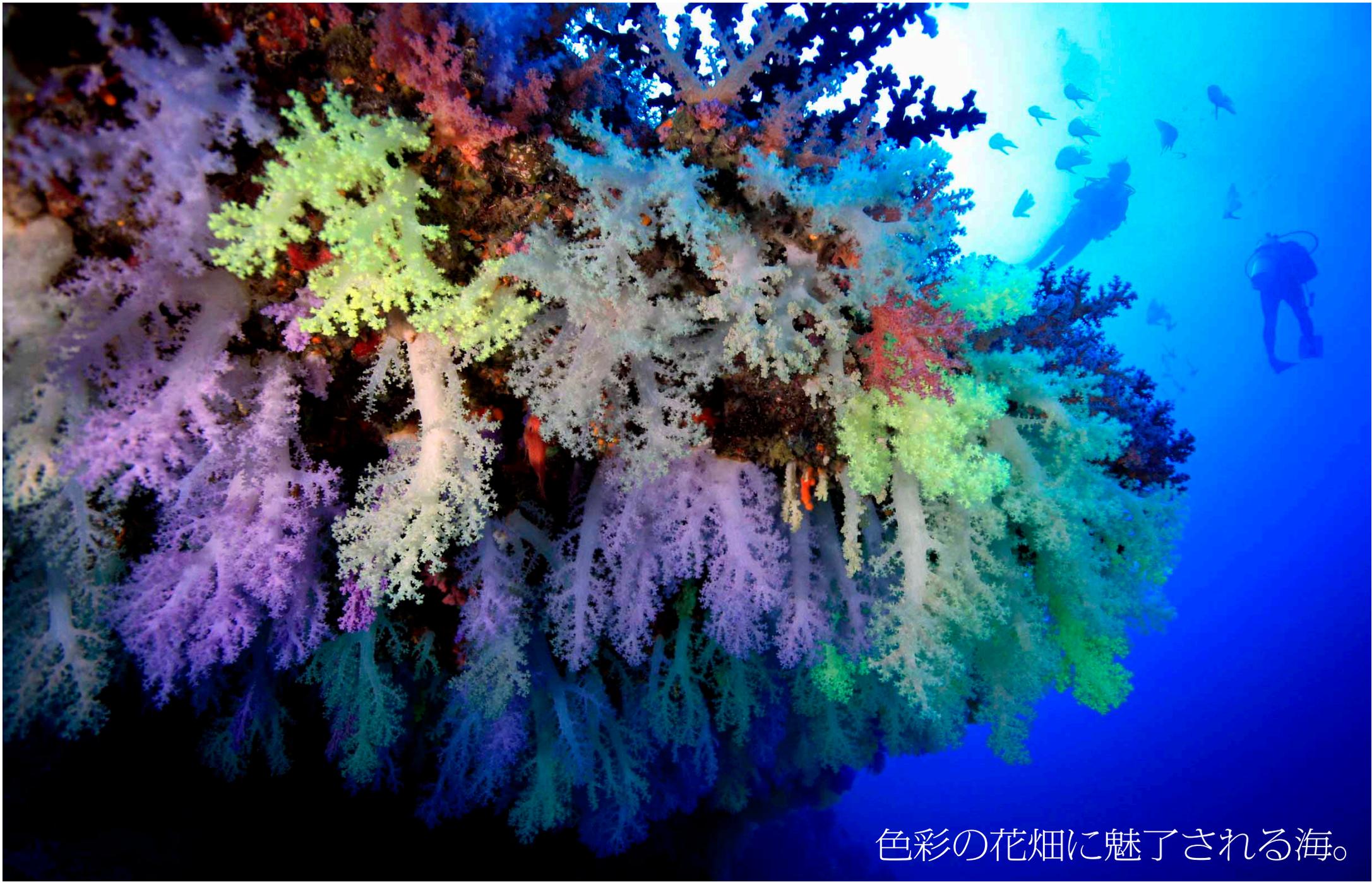
「1月のマンタピークシーズンには、ドナクリ島のハウスリーフになっているチャネルに100匹以上のマンタが群れるんだ。同じ時期、島の北の外洋では、ザトウクジラ数頭が姿を見せたこともある」。「え……、モルディブにザトウクジラ?!」こんな暖かい海にザトウクジラはにわかに信じられなくて、何度も聞き返し、他の人にも確認した。しかし、誰もが、"Yes, we saw them"と答えたのだ。「1月か……」。その頃はリゾートもピークシーズンを迎え、取材に訪れるのはなかなか困難な気がした。でも、「自分で確かめてみたい」。彼の大きなジェスチャーのせいもあって、僕はそんな衝動に駆られた。数日間の滞在では物足りない。

「マンタ100匹にザトウクジラの見れる海」……、なんだか考えただけでワクワクする。100匹のマンタの列に、ザトウクジラが突っ込み、マンタたちがクジラの周囲を乱舞する……。そんな有り得ない、すごいシーンの中に身を置く自分を勝手に空想してみたりする。とはいえ、自分が今回訪れたのは、5月。ピークシーズンはでは無い。もちろん、ピークシーズンだって、そんな凄いシーンにお目にかかること不可能だと思うけど。しかし通常、どんなものが見れるかは、今回の滞在である程度は把握できた。近場のポイントで印象に残っているのは、カラフルで色彩豊かなソフトコーラルの群生。ポイントによって、

その種類や色彩も違っている。ポイントによっては、これほどカラフルな群生は、他ではあまり見たことが無いと思える程美しかった。特にシャークポイントの水深30mに断層のように細長く続く小さなハンゴフの壁には、青、赤、黄色、紫、オレンジなどのソフトコーラルの群生が延々と続いている。周囲に広がる学校のグラウンドのような平坦な海中景観と比較して、なんとも言いがたい情景を見せてくれる。見上げると、上には、ひとつつつこいツバメウオの群れが、ちょこちょこダイバーの後ろを付いていくのが見えた。ドナクリ島の北のリーフを潜る、ドナクリ・ノースやア

クアリウムといったポイントには、水深7~8mの浅瀬にマンタのクリーニングステーションがあり、1年中マンタが見れる可能性があるという。今回も、ドナクリ・ノースで4匹、アクアリウムでの4匹のマンタをそれぞれ1ダイブで目撃した。アクアリウムの見ものは、このポイントがある島に産卵場があるというウミガメたちの個体数の多さ。目を引くのは、エバンスアンティアスの群れの大きさ、それにモルディブ名物、パウダーブルーサージョンフィッシュが群れるパウダー玉を見れる確率も高い。

モルディブ最北端の海、ハーアリフ環礁に潜る!  
**MALDIVES, HAA ALIF ATOLL**  
Web-lue 2007. Summer



色彩の花畑に魅了される海。

パステルカラーのソフトコーラルが続くドロップオフ。その上では、ツバメウオたちがダイバーを出迎えてくれた。(シャークポイント)

モルディブ最北端の海、ハーアリフ環礁に潜る!  
**MALDIVES, HAA ALIF ATOLL**  
**Web-lue 2007. Summer**

©WEB-LUE ウェブマガジンの二次配付および画像・文章の複製、二次使用を禁じます

Information Link  関連情報HPへ  
<http://www.wtp.co.jp/renewal/index.htm>

バリエーション豊かなポイントが、  
リゾートの周囲に点在する



01: ジェティーからダイビングドーンに乗船してダイビングへと向かう。ほとんどのポイントが20分もあれば行ける距離にある  
02: カメが産卵に訪れる島にあるポイント。アクエリウムでは、ウミガメの姿を良く見かけた  
03: 多くの群れが見られる。シャークポイントのアイドルは、人懐っこいツバメウオたち。ダイバーが来ると集まってくる姿がかわいい

モルディブ最北端の海、ハーアリフ環礁に潜る!  
**MALDIVES, HAA ALIF ATOLL**  
Web-lue 2007. Summer



# Island Hideaway Dhonakulhi. Maldives Spa Resort and Marina

リゾートを満喫する

モルディブ最北端の海、ハーアリフ環礁に潜る!  
**MALDIVES, HAA ALIF ATOLL**  
Web-lue 2007. Summer



鬱蒼としたジャングルが残るリゾート内。なんだか妙に引き付けられてしまった。

「リゾート開発に手をつけたのは、島の5%。残りの95%は、今までの自然をそのままに残しています」。日本人ゲストリレーションズのSAYAKAさんが説明してくれた通り、プライベートを重視するために、間隔を最低30メートルは開けて建てられたビラやスパ、レストランなどを結ぶ細い道の両サイドは、まるでディズニーキャラクター「うさぎどん」が住むいばらの森のように、枝葉が複雑に交差した鬱蒼とした藪に覆われていて、足を踏み込むこともままならない。

「この中に入ったら、どうなっちゃうんだろう」。僕は自分のヴィラから、レストランへ向かうバギーに乗りながら、毎日そんな奇妙な考えを抱き、実際に、その藪に分け入ってみたいという衝動に駆られながら、なんとも言えずワクワクした気分になっていた。

モルディブにある、他の5スターリゾートをくまなく見たことは無いのだけど、「ヤシの木1本までコーディネートされている」と聞いたこともある。それに比べれば、いかに自然の状態を維持した環境であるかが、訪れた人には一目瞭然だろう。僕は、この鬱蒼とした雰囲気が入った。リゾートの洗練された雰囲気とは別に、なんとかそのワイルドなままの雰囲気を表現できるような写真を撮りたいと、毎日のようにブッシュを眺めては、「ここがいいかな?あそこも良さそうだな」と試行錯誤。本来の目的である、海を取材することよりも、もしかしたら気合が入っていたかもしれない。



01



03

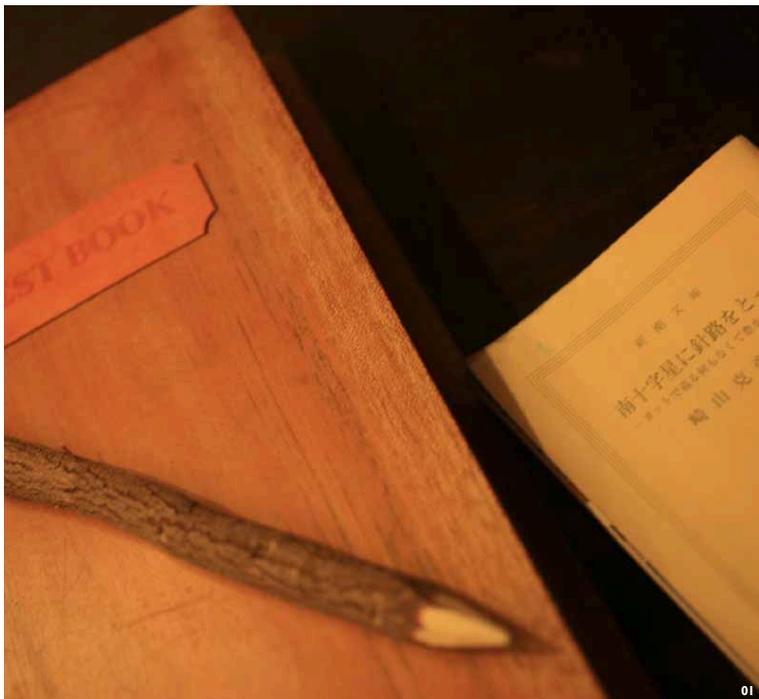


02

01:プライベートビーチへと続く道も緑の木々に覆われている  
02:各コテージは、30mの間隔を開けて建てられ、周囲は緑に覆われている  
03:ダイビングショップからレストランへと続く道もご覧の通り、ジャングルを抜けていく感じ

## 95%の自然を残した、5スターリゾート、 アイランド・ハイダウェイ・ドナクリの実力

モルディブ最北端の海、ハーアリフ環礁に潜る!  
**MALDIVES, HAA ALIF ATOLL**  
Web-lue 2007. Summer



01: ゲストブックには、このリゾートを満喫した、多くのゲストのコメントが残されている  
 02: 広々とした、屋外のバスルーム。開放感あって、リラックスできる  
 03: フレンチドアを全開にすると、オープンテラスのリビングになり、緑が目に見える

04: 広々としたリビングの空間と、間接照明がダイビングの疲れを心地よく癒してくれる  
 05: 天蓋のある、リゾートならではのベッドルーム  
 06: チェスなどのゲームもさりげないインテリアに

## 心が解放される ナチュラルリゾート

僕が滞在したのは、このリゾートではミドルクラスの部屋、ドナクリレジデンス。ミドルクラスと言っても、部屋というよりは完全に家。正直(ここ、一人で使うには大きすぎるな)と思える敷地面積は550m<sup>2</sup>。床は、高級建築材として用いられるタイヘウヨウテツボクの漆黒のフローリングが重厚さを生み出している。8m<sup>2</sup>のジャグジーと、満天の星空を見渡せるルーフテラス、照明はムードのある明るさで、部屋の至るところにキャンドルが置かれている。2mx2mのスーパーキングサイズベッドルームには、開放感のある、フレンチウインドウからは、朝の光が差し込んでくる。窓の外には、鬱蒼とした木々の葉の鮮やかな緑が、目に優しく爽快感の中で目覚めることができた。



モルディブ最北端の海、ハーアリフ環礁に潜る!  
**MALDIVES, HAA ALIF ATOLL**  
 Web-lue 2007. Summer



01



02



03



05



04

## リゾートステイを堪能する

島の周囲は全長約3.2km、歩くと1週約1時間。島内の移動には、ゴルフカート型のバギーを利用したり、各ビラに自転車常備してある。最低30mの間隔を開けて建てられたビラとビラの間は、鬱蒼としたジャングルに覆われていて、隠れ家の雰囲気が漂う。ベースカテゴリーは6種に分かれていて、フナパビリオン(176㎡)7棟、ランバリトリート(385㎡)7棟、ドナクリレジデンス(550㎡)20棟、プライベートプールのあるジャスミンビラ(705㎡)5棟、スパの敷地内にある水上コテージのウォータースイート(235㎡)2棟、最上級のハイダウェイパレス(1,420㎡)2棟の計43棟。

全棟に必ず1名のバトラーが付き、ゲストのケアをしてくれるのは、多くの5スターリゾートがあるモルディブでも、唯一ハイダウェイだけ。日本人はバトラーの扱いに慣れていない人が多いそうだが、「遠慮せずになんでもリクエストしてください」とのこと。家族連れのゲストが目立つのは、子供をバトラーに完全に任せられるのも大きな理由のようだ。

- 01:キッズルームなど、ファミリー向けの施設も充実している
- 02:夕日が見れるミールバーでは、のんびリアルコールドを楽しむ
- 03:最上級クラスのハイダウェイパレスは、それ自体が一つのリゾートホテルのような雰囲気
- 04:バトラーが常にケアしてくれるので、ファミリーで訪れるゲストも多い
- 05:マディファルレストランでは、和食の朝食なども用意されている

モルディブ最北端の海、ハーアリフ環礁に潜る!  
**MALDIVES, HAA ALIF ATOLL**  
 Web-lue 2007. Summer



## ゲストをもてなす 充実のホスピタリティ

01:ラグーンスパバビリオンへと続く棧橋をアロマテラピーに使うトリートメントオイルを持って歩くセラピストの女性

02:ラグーンを見渡せる開放的なオープンテラスで、アロマテラピーを体験できる



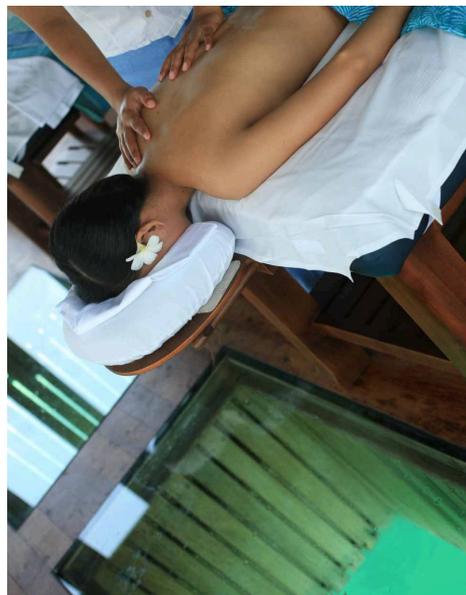
03



04



05



06

ミールバーでは、アルコールを飲みながら、ロマンチックな夕日を楽しむことができる他、同じく海に沈む夕日が眺められて、インターナショナルな食事が楽しめるマティファルレストラン、島の東側には、タイ、日本などのアジア料理が美味しい水上レストランのガープシ。これ以外にも、水、金、日には、スペシャルディナーが楽しめる。水曜日はプールサイドでバーベキュー、日曜日は同じくプールサイドでモルジビアンナイト、ジャングルの中にあるココナッツグローブでは、地中海料理、フレンチ、和食などなど、毎月メニューが変わる、世界の料理が楽しめる。

リゾート内には、世界中に70店舗もの展開を見せるマンダラスパが入っていて、ランドビラと水上にある、

スパバビリオンで、バリニーズをはじめとする様々なアロマテラピーを楽しめる。

マーレ空港からは、国内線で約50分、空港のある島から、リゾートまでスピードボートで約20分。

03:ラグーンスパバビリオンへと続く棧橋。両端サイドは宿泊棟のウォータースイーツ

04:スパランドビラ、ラグーンスパバビリオンともにジャグジーがある

05:世界に70店舗の支店を持つ、マンダラスパ。セラピストは全てバリ島出身だ

06:ラグーンスパバビリオンのトリートメントルームの床はガラス張りになっていて、海中を見ながらアロマテラピーを楽しめる

モルディブ最北端の海、ハーアリフ環礁に潜る!  
**MALDIVES, HAA ALIF ATOLL**  
Web-lue 2007. Summer

Information Link 関連情報HPへ  
<http://www.wtp.co.jp/renewal/index.htm>



リゾートを満喫する



# Island Hideaway Dhonakulhi. Maldives Spa Resort and Marina



モルディブ最北端の海、ハーアリフ環礁に潜る!  
**MALDIVES, HAA ALIF ATOLL**  
Web-lue 2007. Summer

# POINT GUIDE #01

## ドナクリノース

### Dhonakulhi North

ドナクリ島の北端、外洋側のリーフをドリフトで流すポイント。チャンネルとのコーナーの部分で、マンタの巨大なクリーニングステーションになっている。ステーションの水深は7mくらいと浅く、コーナー部分はサンゴも美しいため、スノーケラーでもステーションで旋回するマンタを見ることができる。モルディブには珍しく、通年マンタを目撃するポイントだが、頻繁にマンタが見られるのは11月～5月末くらいまで。多いときには10匹以上のマンタが一度に見られる。コーナーから、右肩にリーフを見ながら移動していくと、ヨスジフエダイの群れが見れたり、オーバーハングになった傾斜では、黄色のソフトコーラルが群生して美しく、スティンクレイやナースシャークが見られる。ビギナーから楽しめるポイント。リゾートからボートで5分。

モルディブ最北端の海、ハーフリフ環礁に潜る！  
**MALDIVES, HAA ALIF ATOLL**  
Web-lue 2007. Summer

Information Link  関連情報HPへ  
<http://www.wtp.co.jp/renewal/index.htm>



POINT  
GUIDE  
#02

## シャークポイント

### Shark Point

早朝ダイビングで良く潜りに行くポイント。隠しブイから、エントリーし、水深30m付近まで一気に潜行。時に強い流れが発生するので、中上級者向けのポイント。様々な魚の群れが多く、ギンガメアジ、ツバメウオ、ハタタテダイ、バラクーダなどの群れを一度に見ることもある。30m付近に断層のように細長く続くハングオフの天井には、黄色、青、紫、ピンクの美しいソフトコーラルが群生している。流れの強いときには、ブイのロープにつかまって、サメやイソマグロ、ナポレオン、イーグルレイなどの大物待ちすることも。ダイビング終盤には、トップが水深12mの浅いリーフに移動して、ヨスジフエダイ、ウメイロモドキ、ハナダイなどの群れをのんびりと観察する。リーフトップは初心者からOK。リゾートから30分。

## マティファル

### Mathi Faru

巨大なオーバーハングのウォールダイブ。深場に奥行きのある浅いケーブが点在していて、ステイングレイ、ナースシャークなどが眠っていることも。広いオーバーハングの壁には、黄色いソフトコーラルが点在していて、美しい。オーバーハングの壁、水深25m付近では、モルディブの他のポイントでも珍しい、インディアンバタフライフィッシュがヘアでかなりの個体数見ることができる。リーフトップはテーブルコーラルが群生。ビギナーから上級者まで楽しめるポイント。リゾートから5分。

POINT  
GUIDE  
#03



POINT  
GUIDE  
#04

## アクエリウム

### Aquarium

ドナクリ島の西隣にある無人島の北端のリーフを流すドリフトダイブ。緩やかなスロープのリーフ上は、茶色のソフトコーラルが敷き詰められた地形になっている。ウメイソモドキ、ササムロ、タカサゴ、ハナタカサゴなどのフエージュラー系が多く、ハナダイやチョコレートクロミス、エバンスアンティアスなどもコーラルの上を乱舞していて、美しい。ノコギリウオ、ヨスジフエダイの群れも見られる。島がウミガメの産卵場になっていることから、ウミガメとの遭遇率も高く、パウダーブルーサージョンフィッシュの群れが見られることも。水深8mのリーフ上にマンタのクリーニングステーションになっていて、マンタも頻繁に目撃する。リゾートから15分。



モルディブ最北端の海、ハーアリフ環礁に潜る!  
MALDIVES, HAA ALIF ATOLL  
Web-lue 2007. Summer

Information Link  関連情報HPへ  
<http://www.wtp.co.jp/renewal/index.htm>



**POINT**  
GUIDE  
#05

## メリディスティラ

**Meridis Thila**

環礁内に4つのティラ(隠れ根)が東西に並んでいるポイント。ティラの南側、水深25m付近を東から西、あるいは西から東に流していく。ブイが無く、一気に水深25mまで潜行していかなければならないので、流れがあると初心者には難しいポイント。オーバーハングにはソフトコーラルが群生。ツムブリやギンガメアジの群れが見られる。マンタ、ナポレオン、イソマグロ、イーグルレイ、ロウニンアジの群れなどが出没することも。

## ドナクリハウスリーフ

**Dhonakulhi House Reef**

チャンネルがハウスリーフになっていて、ジェティーの下にはギンガメアジの群れが見られる。海中にカメラがセットしてあり、ダイビングショップ内のモニターで、常時このジェティーの下のギンガメアジを観察できるようになっている。ウミガメ、ナポレオン、巨大なブラックフィンバラクーダ、スティングレイ、巨大なウツボ、ミノカサゴなどが見れる。ときに、10匹前後のイーグルレイの群れが通過することもある。水深3~5mのジェティー下では、フラッシュ系のベラ、マッコスクーズラスがコロニーを作っていたり、1月のマンタピークシーズンには、100匹ほどのマンタがチャンネルに列を作っていたこともあり、と注目度大のポイントでもある。チャンネルなため、必ずダイブガイドが同行してのダイビングになる。

**POINT**  
GUIDE  
#06



**Diving**  
Service

## メリディス・ダイビングサービス

マネージャーは、ドイツ人のキースティン・ノルティさんと日本人の奥さんのユウコさんが常駐。二人とも穏やかな優しい性格で、日本人でも、言葉の心配も無く、安心してダイビングを楽しむことができる。1日2ダイブが基本。毎ダイブごとにリゾートに戻ってくる。午前中は9時30分、午後は14時30分にジェティーを出発する。オプションで早朝ダイブ(5時30分スタート)やナイトダイビングも可能。ダイビングドローニは2隻。定員20名の「ルナ」には、トイレ、水シャワー(3つ)、GPS、フィッシュファインダー装備。サンデッキもある。もう1隻は定員15名、今後シャワーをつける予定だが、現在(2007年4月現在)は、トイレ、シャワー無し。GPS装備。サンデッキ有り。タンク本数56本。レンタルギア30着。コンプレッサーは最新式で、ナイトロックスはエクストラチャージ無しで利用可能。

モルディブ最北端の海、ハーアリフ環礁に潜る!  
**MALDIVES, HAA ALIF ATOLL**  
Web-lue 2007. Summer

 Information Link  関連情報HPへ  
<http://www.wtp.co.jp/renewal/index.htm>